



「安心に包まれて 小学校生活をスタートするために
～スタートカリキュラムについて～」

幼保こ小連携担当 賀田亜弥

「先生、今日はとっても楽しかった。さようなら、また明日。」

入学式が終わって、しばらく経ったある日。さようならの後に担任が玄関で見送りしていると、校門付近まで行った一人の女の子が戻ってきて伝えてくれた言葉です。

「先生、一年生って保育園とすごくちがうと思っていたけど、あんまり変わらないね。すごく楽しんだね。」

小学校生活に少しずつ慣れた頃、一人の男の子が笑顔で話してくれました。

1年生の子どもたちが小学校生活のよいスタートを切れたと感じた、嬉しい春のエピソードはまだたくさんあります。

1年生が小学校生活をスムーズにスタートできるように編成した教育課程を「スタートカリキュラム」とよんでいます。これは、**幼稚園・保育所・認定こども園**などでの遊びや生活をとおした学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、**小学校**での新しい生活を創り出していくための段階的な教育課程です。

松野尾小学校でも、4月の入学式からゴールデンウィーク前後まで、この「スタートカリキュラム」を実施しています。主体的に朝の支度や自由な遊びをする「**ゆったりタイム**」、集団遊びをとおして、安心感を持ち、新しい人間関係を築いていく「**なかよしタイム**」、幼児期に身に付けた力を発揮できる生活科の時間を中心とした「**わくわくタイム**」、生活科を中核として合科的、関連的に学習する「**ぐんぐんタイム**」。これらの時間から教科の学びへと段階的に移行して進めてきました。

また、松野尾小では、幼保こ小の円滑な接続のため、年長児との交流の場を2回設けています。先日（11月27日）の交流会では、松野尾保育園の年長さんに喜んでもらえるよう、小学校が楽しみだと思ってもらえるよう、張り切って準備したり、学校を案内したりする子どもたちの姿が見られました。お兄さん、お姉さんとして、たくさんのことを教えてあげたいという気持ちが感じられ、大きな成長を感じました。

5歳児から小学校1年生までの2年間を「架け橋期」と呼びます。小学校では「スタートカリキュラム」を編成していますが、幼保こでも「アプローチカリキュラム」というものを編成し、小学校への円滑な接続を図ってくれています。これからも子どもたちが安心して包まれて小学校生活を送れるよう、校種の枠を超えた連携を推進していきます。



R6年度 総合的な学習の時間

3年 総合「上堰潟はかせになろう」

松野尾の誰もが知る大きな公園ですが、子どもたちにとっては知らないこともまだまだたくさん。実際に行ったり、講師のお話を聞いたりして、もっともっと上堰潟に詳しくなり、上堰潟はかせを目指しています。

わらアートがくふうして作ってあっておどろきました。猫又は、ひげのところは竹でできていて、大蛇のキバはロープがまいてありました。来ている人にインタビューしたら、山形県から来た人でした。上堰潟のいいところを見つけている人がいてうれしくなりました。

3年 Aさん

今は道路になっているところが昔は池みたいになっていたと学びました。また、田舟に乗せてもらい、昔の人はこうして舟で田んぼに行っていたと聞きました。田舟はすごくゆれてこわかったです。昔の人の苦ろうが分かったので、これからも田舟をのこして行ってほしいと思いました。

3年 Nさん



4年 総合「わたしたちにできること」

福祉について学んでいることを生かして、誰もが暮らしやすい地域にするために、自分たちにできることを考えています。



しかくしょうがいの方の生活を助けてくれるもうどう犬が新潟県には38頭と、数が少ないことを知りました。ユニバーサルデザインの学習では、色が分かるように、音声で読み上げてくれる機械があることが分かりました。

地域のみなさんとコミセンで交流したときに、分かりやすくゲームの説明をするのは難しかったけれど、みんなの笑顔が見られてよかったです。

4年 Sさん

ふだんは何も気にせず物を見たりつかんだりしていたけれど、しかくしょうがいの方のお話を聞いたり、道案内をする体験をしたりして、目が不自由なことの大変さを実感しました。こまっている人を見かけたら声をかけて助けたいと思います。また、ゲームを企画してmarugo-to やコミセンのみなさんと一緒にやったとき、楽しそうなみなさんの様子が見られてうれしかったです。

4年 Mさん



文化祭



なかよしはんのみんなで、たいいくかんをまわってさくひんをみてたのしかったです。みんながじょうずにえやこうさくをつくっていました。さくひんをつくるときにくふうしたことをはなしたら、みんながきいてくれて、うれしかったです。

1年 Gさん

5年 総合「未来につながる松野尾の食産業」

お米作り体験、笹祝酒造の酒蔵見学、ポイセンベリーの収穫体験などとおして、松野尾ならではの食に関わる産業について、理解を深めています。



ぼくがポイセンベリーについて分かったことは、とても栄養がある貴重な食べ物だということです。目や肌にいいことも山賀さんから教えてもらいました。収穫体験で食べてみたら酸っぱくておいしかったです。ポイセンベリーをもっと多くの人に知ってもらいたいと思いました。

5年 Cさん



私は、笹祝酒造に見学に行って、お客さんが喜ぶお酒を造っていることを学びました。「笹サンデー」という商品は、アルコール度が低く、明日から仕事の日曜日にも気軽に飲めるお酒で人気だそうです。大人になったら家族と一緒に笹祝酒造さんで作ったお酒を飲みたいです。

5年 Gさん

6年 総合「大好き松野尾～松野尾のよさを見つけよう～」

松野尾の歴史について、ゲストティーチャーからお話を伺ったり、現地の史跡を巡ったりしながら学んでいます。松野尾が自然豊かで歴史ある地であることを再認識しています。



ぼくは、史跡めぐりで、松野尾には神社や寺が案外多いことが分かりました。また、史跡も多くあり、いつも通っている所にも、史跡があったことに気付きました。特に、松尾芭蕉の俳句が彫ってある石碑を見て、有名な人の石碑があることにおどろきました。

6年 Fさん



戦時中と戦後の松野尾についてお話を聞きました。戦時中は、とても厳しい生活だったことを知りました。また、戦時中は鉄や銅を大砲に使うため、お寺の釣鐘も国に差し出したということにおどろきました。松野尾についてまた詳しくなれてよかったです。

6年 Kさん



文化祭で、みりょくてきな作品がたくさんありました。他の学年の作品も見ることができてうれしかったです。かんしょうカードにもいいところを書きのこせました。自分の作品について、星をマークに入れてまぼろしの花が目立つように工夫したことをみんなに聞いてもらえてよかったです。

4年 Iさん



ぼくは、みんなの作品を見て、みんなそれぞれの描き方があって素晴らしいと思いました。心に残ったことは、みんなが他の人の作品をほめていたことです。ぼくの作品のいいところも見つけてもらってうれしかったです。人によっていろいろな見方があるんだなと思いました。

6年 Yさん



後期委員会活動（学習・生活・健康）

<学習委員会>

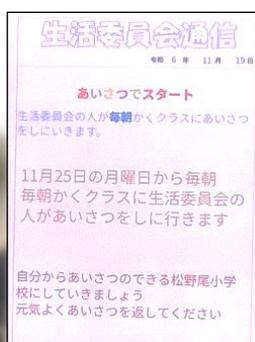
宿題には取り組んでいるけれど、自学の内容に行き詰まっている人も多いという様子から、自学イベントを企画中です。低学年も含め、全校が自学に意欲的に取り組めるようにはどうしたらいいか話し合っています。



<生活委員会>

自分からあいさつができる松野尾小になってほしいという思いから、11月25日から「あいさつでスタート」の取組が始まっています。毎朝、担当の子があいさつしながら各教室を回っています。

また、みんなの仲がますます良くなるような全校イベントも企画中です。



<健康委員会>

みんなが手洗いで使うシャボネットの補充点検をしています。

寒さや病気に負けない健康な体づくりや体を動かして元気に過ごしてほしいという思いから、イベントを企画中です。



12月の行事予定

2 (月)	全校朝会 委員会 諸校費振替日	12 (木)	中学校区3小学校交流会 (6年生) 西蒲区内文化施設見学 (3年生)
6 (金)	児童会祭り	16 (月)	個人懇談会①
9 (月)	クラブ⑦ (最終)	17 (火)	5時間授業 個人懇談会②
11 (水)	Well-Being Day (水4の日) 下校 13:15	18 (水)	個人懇談会③
		20 (金)	給食最終日 5時間授業